

平成 30 年 10 月 貫井図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 30 年 10 月 25 日（木） 14 時 00 分から 14 時 40 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 管理係長、運営調整係長・係員（2） 事業統括係長、子供事業統括係長 光が丘図書館長は欠席</p> <p>(2) 貫井図書館指定管理者（株式会社図書館流通センター）（以下「貫」） 貫井図書館長、同館業務従事者（2） 本社スタッフ（2）</p>
内容	<p>施設管理について</p> <p>（光）図書館前の公道の駐輪について （貫）今年は、中村橋阿波おどりが開催された 9 月の 2 日間、まちづくり公社が中村橋駅西自転車駐車を無料開放し、公道の駐輪が全くなかった。近隣の練馬第三小学校の行事等に参加される方の駐輪については、小学校に申し入れをし、年々改善している。</p> <p>（光）視聴覚室の学習席としての開放時間の拡大について （貫）7 月に入り利用者が増加し、18 時前から廊下で開室を待たれる方が多くいらしたため、開室時間を 18 時から 17 時に 1 時間早くした。現在も継続している。</p> <p>職員体制について</p> <p>（光）7 月に館長が受講した「ライブラリー・アカデミー 2018 館長セミナー 図書館長のための政策学講座 第 1 回」について （貫）総務省のホームページで各自治体の財政状況等を確認し理解すること、PFI 契約の実態について受講した。現状の館運営に直結する話はなかったが、勉強になった。</p> <p>（光）9 月に貫井図書館で実施した「N-impro 研修」について （貫）練馬区地域文化部協働推進課の協力により、認知症への理解を深める「N-impro 研修」を株式会社図書館流通センターが受託している練馬区内の図書館 7 館合同で受講した。協働推進課の方、コンビニの方、地域包括支援センターの方がファシリテーターとして各班に 1 人配置され、中身の濃いディスカッションが行われた。最初に認知症について簡単なレクチャーがあり、その後、班ごとにシチュエーションカードを使った具体的な事例への対応や判断基準をディスカッションしていく。正解はないが、様々な判断基準が興味深く、図書館現場での対応を考えるきっかけとなった。貫井からは 5 名、他館からは 2 ～ 3 名が参加した。また、10 月の館内整理日に地域包括支援センターの方に来ていただき、公共図書館スタッフ全員に「認知症サポーター養成講座」を講義していただいた際、「N-impro」の簡略版も実施していただいた。</p> <p>（光）9 月に館長が「第 6 回 超高齢社会と図書館研究会」を受講するなど、認知症関連の研修が充実しているが。 （貫）ここ 2 年くらい、認知症を疑われる方が増えてきていると感じている。地域包括支援センターと連携し、介護サービスにつながったケースもある。声を大きくあげてしまう方など、いろいろな症状があることをスタッフが勉強する機会を増やしていきたい。利</p>

利用者向けの認知症関連の事業については、家族向けを含めて継続して企画していきたい。

一般事業について

(光) 地域コーナー展示「紹介します！本とお店 サンツ中村橋商店街×貫井図書館」について

(貫) 地域の商店街に協力して盛り上げられないかと考え、平成 28 年度から隔月更新で 2 店舗ずつ地域コーナーで紹介展示をしている。年度末にはパンフレットを 1 年分まとめ、お店に置いていただくようお渡しした。サンツ中村橋商店街の組合に加入しているお店に順番にお声掛けし、お断りされない店は全て紹介する予定である。

(光) 9 月実施の「谷修ねりうた LIVE」について

(貫) 平成 27 年度から毎年実施し、好評である。2 回目の平成 28 年度には貫井図書館の歌を作っていた。

児童・青少年サービス事業について

(光) 「練馬区立貫井図書館 図書館を使った調べる学習コンクール」の応募状況について

(貫) 応募総数は 180 点と、昨年度より減少した。昨年度は、学校法人山崎学園富士見中学高等学校の中学 3 年生の卒業制作を全てご提出いただいたが、今年度は希望者の応募となったためである。同校の高校生からは 26 作品の応募があり、力作揃いであった。区内の都立高校にはパンフレットを送付し PR している。小学生の応募は 49 作品で、昨年度の 21 作品から倍増した。

(光) 8 月実施の「夏のおたのしみ会 『Le Danboard』上映会」について

練馬区貫井にあるコマ撮りアニメ制作会社ドワーフの映像作品を上映した。ダンボールのキャラクターをコマ撮りした作品で、光が丘公園などがロケ地として使用されている。短編が連なるかわいいアニメで、参加者の反応も好評であった。定員に対し参加者が少なかった理由は、幼児から児童とその保護者が対象の事業であり、当日キャンセルがあったためである。

(光) 9 月実施の「映画 『ちえりとチェリー』上映会&監督トークショー」について

(貫) コマ撮りアニメーション映画「ちえりとチェリー」、「チェブラーシカ動物園へ行く」の上映会を行った。上映後、監督をお招きし、制作秘話やアニメーションに関わる仕事についてのトークショーを行った。青少年向けとして企画したが、アニメーションに関心の高い大人の方がたくさんいらしたため、対象年齢を途中から一般まで拡大した。

(光) 学校支援モデル事業の夏休みの支援状況、秋の読書旬間等について

(貫) 夏休みは、小学校は開館がなかったが、中学校は開館があった。中学校は、電算化に向けて蔵書点検を中心に準備を行った。読書旬間は、小学校は 9 月に実施した学校が多い。ブックトーク、おはなし会を全学年全クラスで実施した。中学校は、定期考査後の 11 月下旬から 2 学期の読書週間が始まる。

その他

(光) 9 月に設置した自動販売機の利用状況について

(貫) 土日を中心に良く利用されている。懸念していた両替の要望、苦情等はない。